

東京成徳大学 ハ千代キャンパス 図書館だより

Vol. 37

2017. 10. 02 発行



図書館運営委員会

夏目漱石 - 生誕 150 年 -

夏目漱石とは

1867-1916 小説家。

慶応3年1月5日（新暦2月9日）に江戸牛込馬場下横町（東京都新宿区牛込喜久井町）に生まれる。本名、金之助。漢詩文が好きで漱石のペンネームの由来も、中国の成語「漱石枕流」（負け惜しみが強いという意味。）から。8人兄弟の末っ子で、生後まもなく里子に出され、1歳の時に養子に出される。9歳の時養父母が離婚したため夏目家へ戻るが、必ずしも温かく迎えられず、さらに実父と養父の対立により夏目姓への復籍は21歳まで遅れた。大学時代に正岡子規と出会い、俳句を学んだ。大学時代から教職に就いており、大学卒業後は松山と熊本で教職に就いた。後にイギリスへ3年間留学。帰国後東京帝国大学講師として英文学を講じながら、「吾輩は猫である」を発表し、作家デビュー。この時38歳。40歳の時に教職を辞し朝日新聞社専属の作家として新聞小説を掲載。43歳の時胃潰瘍となり入院。退院後、療養先の修善寺温泉で一時危篤に陥った。その後執筆活動を再開したが、胃潰瘍が悪化し50歳で永眠。作家としての活動はわずか12年間だった。



今年2017年は、文豪・夏目漱石生誕150年の年です。旧千円札の顔でお馴染みの夏目漱石とは、一体どんな人物だったのでしょうか。

作品年譜

1905年（明治38）	1月『吾輩は猫である』『倫敦塔』発表	
1906年（明治39）	4月『坊ちゃん』発表 9月『草枕』発表	38歳で作家デビュー
1907年（明治40）	4月朝日新聞社に入社 5月『文学論』刊 6月『虞美人草』連載	
1908年（明治41）	6月『文鳥』連載 7月『夢十夜』連載 9月『三四郎』連載 1月『永日小品』連載 3月『文学評論』刊 6月『それから』連載	9月頃より胃痛に悩む
1910年（明治43）	3月『門』連載	8月修善寺にて一時危篤
1912年（明治45）	大正1）1月『彼岸過迄』連載 12月『行人』連載	
1914年（大正3）	4月『こころ』連載	
1915年（大正4）	6月『道草』連載	
1916年（大正5年）	5月『明暗』連載～12月未完のまま連載終了	12月9日胃潰瘍のため永眠

～10月27日から11月9日までは 読書週間～

読書週間とは読書の普及を目的とし、読書推進運動協議会が実施する運動です。

今年の標語は「本に恋する季節です！」。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。

公益社団法人 読書推進運動協議会

<http://www.dokusyo.or.jp/jigyoo/jigyoo.htm>



学生による！

Book review

無戸籍者たちが生きてきた厳しい状況、無戸籍者が生まれてしまう原因と問題という現代に実際に起きている内容が描かれている作品です。無戸籍者はパスポートを取得できず、公的な資格が取得できないなどの多大な不便が強いられる。現行の法制には数々の課題があり、改善の必要がある。あまりこのような実際に起きている問題に関心がない人にもこの本を読みどんな問題が起きているのか知ってもらいたいです。私個人としては社会問題としてテレビでも取り上げられているのを見たことがあったが、この本を読んだことで無戸籍という問題の重大さをより知ることができた。この問題以外にも多くの社会問題があるが、まずはここから読んでいってもらいたいと思います。

読書の秋です！

読みたい本が図書館に置いていない！なんてことはありませんか？
所蔵していないからと諦めずに、是非リクエストサービスを
活用してください！たくさんのリクエストお待ちしております！！



『無戸籍の日本人』
著者 井戸まさえ
発行所 集英社
2016年1月10日発行
【請求番号：324.87/118】
図書館3階伝統ゼミ選書

